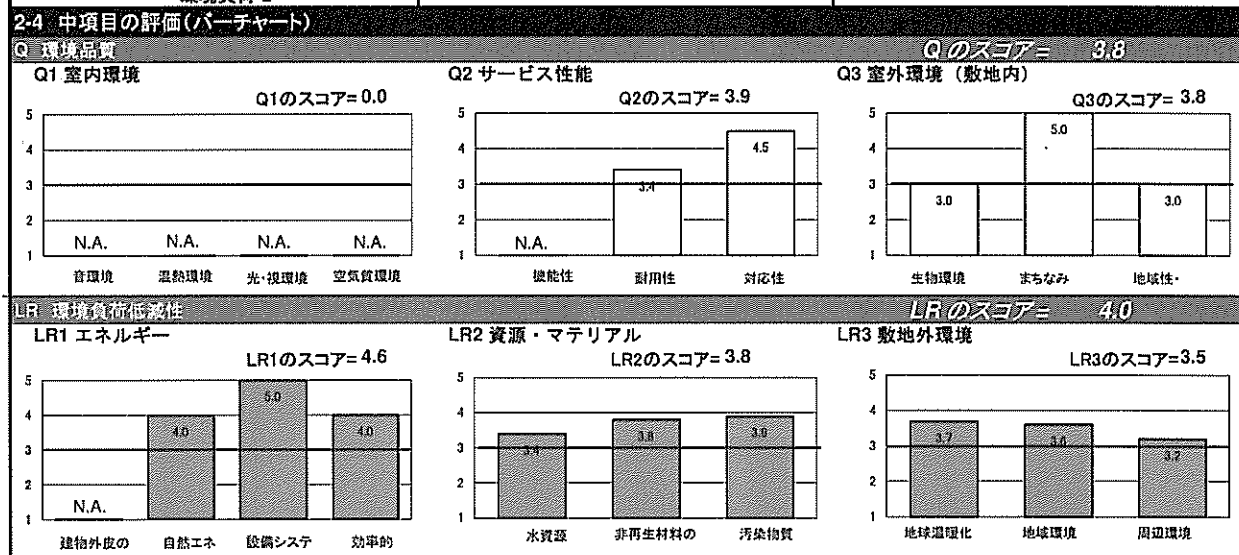
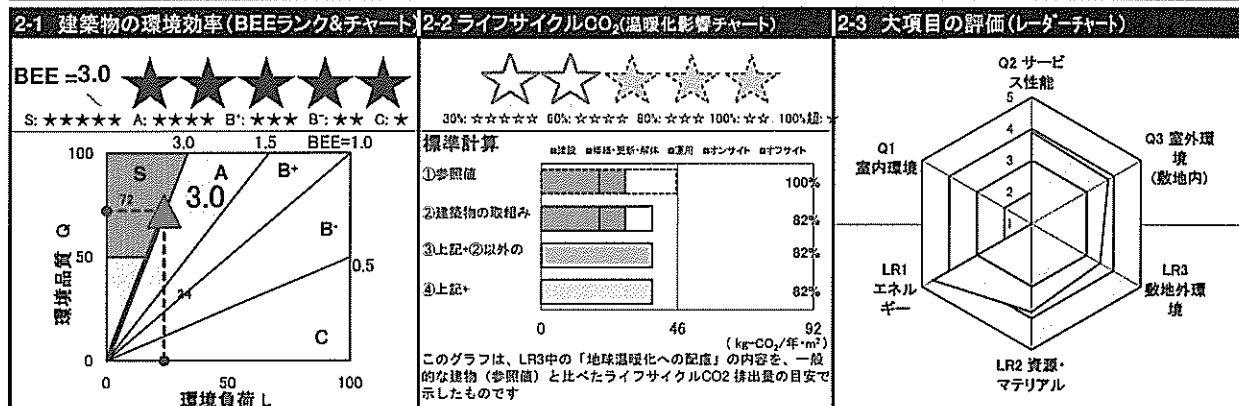
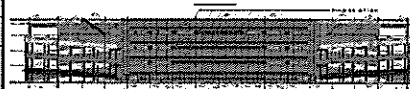


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ロジスクエア京田辺A新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京田辺市大住門田2番1ほか90筆	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条地域	平均居住人員	929 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年3月6日
敷地面積	69,836 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン定森淳一
建築面積	41,377 m ²	確認日	2023年3月7日
延床面積	156,878 m ²	確認者	(株)経高組一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		・特に無し。
Q1 室内環境 対象外。	Q2 サービス性能 敷地内の道路においては、車両と歩行者の動線を明確に分けて計画しています。また、搬入出動線を交錯させないようにすることで、効率的な搬送が可能となっています。	Q3 室外環境(敷地内) 西側道路に緑地帯を設け、周辺環境と調和した外構計画としました。また空調機の熱源についてはすべて電気で行い、排熱を抑える計画としました。
LR1 エネルギー 省エネルギー対策として、設備システムの効率化を図りました。 BEIm=0.54。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率82%。 燃焼機器を使用していない。 光害の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される